

議 事 概 要

会議名	第17回 海津市地域公共交通会議
日時	令和元年5月22日(火) 15:00～16:30
場所	海津市役所西館 1階 大会議室
出席者	委員22名 事務局5名 (株)テイコク2名
傍聴人	1名
議題等	議題1 会長の選任、副会長及び監事の指名について 議題2 平成30年度決算について 議題3 令和元年度予算(案)について 議題4 平成31年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業(計画策定事業))交付申請について その他

協議・報告事項

議題1 会長の選任、副会長及び監事の指名について

- 会長に福田副市長を選任
- 議長に寺村市民環境部長を指名
- 会長から副会長、監事を指名
 - ・副会長 岐阜大学工学部教授 倉内委員
自治連合会長 中島委員
 - ・監 事 海津市議会議長 赤尾委員
海津市老人クラブ連合会長 近藤委員

議題2 平成30年度決算について

- 事務局から説明 (資料1)に基づき説明)
 - ・平成30年度決算について
- 監事から監査報告
 - ・平成30年度決算について
- 委員からの質問・回答、意見等 (→事務局回答、⇒他委員回答)
 - ・石津駅と美濃津屋駅には看板、駐車場の案内の中で「問い合わせをしてからとめてください」という張り紙で、「女性の家」と「みかげの森」にとめる場合に、問い合わせというのは何件くらいあったのですか。
→昨年度は、問い合わせはなかったです。担当の施設からも問い合わせはなかったです。両施設は駐車場でイベントを行う場合があり、そのイベントの日に、パーク&ライド用の駐車車両がイベントの支障になるおそれがあるため、事前に問い合わせというスタンスをとらせていただいております。
- 原案のとおり承認

議題3 令和元年度予算（案）について

○事務局から説明（資料2）に基づき説明）

- ・令和元年度予算（案）について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

- ・事業費の中の看板、これはどんな看板ですか。

→昨年度、駒野駅のパーク&ライド用の駐車場の看板の地図が見つからないというご意見がありましたので、今年検討して、直せるところは直そうかと、そういう関係で予算を組ませていただいております。

- ・昨年度もある方からご意見が出ていたと思うのですが、例えば駐車場になっているところに初めてみえた方が駐車場はどこかと、表示がしていないのでわかりづらいと思う。車に乗ってみえる方は近くの方じゃなく平田町とか海津町から離れている方がみえるので、あそこも駐車場はここですよというような案内の看板と、それから駅まで行く近道、裏道から行けるような道があるわけですから、どの道を行ったらいいかという案内するような看板を考えていただけるとありがたいのですが。

→最初は駅ではなく、施設の駐車場に看板を設置する予定でしたが、施設の担当者から、無料駐車場というので駐車場を確保されると、施設利用者が確保した駐車場を使ってはいけないと捉えられるため、そういうものを書かずに、このパーク&ライドの駐車場のみというわけではなくて、施設利用者も使えてという意味で、あえて看板を施設のほうにはつけていません。なぜ事前に申し出をしなければいけないかというのはその点でもございまして、施設に確認してとめていただくということでご了解をお願いしたい。それと、案内看板や道につきましては、検討したいと思います。

- ・初めて参加してよくわからないのですけれども、先ほどの看板の件ですけど、もともと何のために設置して、設置した効果があったのかどうか、全くわからない。私は平田に住んでいるのですけれども、ほとんど行くことがない。効果があったのかどうかを教えてほしい。今年度の大きな864万円の網形成計画改定の条件、どのような方針でこれを改定させようとしているのか、もう少し大きな目でやらないと、どういうものができるのかわからないのに860万円を投資していいのですか教えてください。

→駐車場の件につきましては、「パーク&ライド」と申しまして、鉄道など利用する際の駐車場でそこに車をとめていただいて電車等を利用していただくという目的です。いま現在も利用状況は確認しており、すぐ変更ということはまだ考えていない。もう少ししばらく状況を確認していきたい。

網計画については、860万円ほどかかりますが、これまでの交通網計画の実績や評価も含まれ、市民のアンケート、各地区での意見交換会や、そして計画、数値等の取りまとめ、これから皆さんにご審議やご検討いただくものも含めて、コミュニティバスだけではなく、電車、事業者の路線バスも含めた海津市の中の公共交通をどのように整備していくといいかという案を、大きな計画ですので、今後、これからどのように進めるかということについては、ご説明しながら進めていきたい。

- ・この網形成計画の改定というのはこういう趣旨であって、こういうことをやりたいのだと、それについて、今年の事業でやることは最終的にこのお金でやっていきたいのだという形の説明をいただいたほうが、恐らくわかりやすいのではないかと。

そういった意味でも、この資料2や議題3については、もしかすると「その他」のところに、その網形成計画の改定に関する議論が入っていると理解しておりますので、その説明を受けていただいた上で、それもこのお金でやっていくのだというふうに、議題として審議いただいたほうがよろしいのではないかと思いますので、いかがでしょうか。

→事務局から資料2の参考及び資料4について説明

- ・説明がよくわからないのですが、まずこの資料3、様式第5-1の別紙、3、事業の実施内容のところに書いてあるように、上位関連計画とか費用負担の状況等の整理をするということがあるじゃないですか。問題点はこれもあるのですけれども、その辺を踏まえてきちっと受けているのかどうか。例えば上位関連計画って何ですか、どういうふうにしていくものですか、市民3,000人のアンケートはいいのだけど、本当に交通は要るのか要らないのですか、誰が何のために、それがよくわからないまま計画だけしたって、一部の人のメリットにしかならないのではないかと。私なんか一回も使ったことがないです。乗ろうとも思わない。それについてどう考えているのか、誰がほしいのかということ。はっきりしたことが出ていて、例えば70歳以上とか75歳以上の人たち向けに、その人たちが、何が要るのか、買い物と病院と、その2つがあればいいのか、「そこだけできるためのシステムをつくりたい」と言ったら、私は賛成しますが、学生が来るために何でこんなにたくさんお金を払わなきゃいかんの、パーク&ライドのために何でお金を払わなきゃいかんの、おかしいのではないかと、言っているのです。そこがはっきり出ていないのに、何で委託できるのですか。それが言いたかったから、私、公募委員に応募したのだけど、まずそこが見えない。前の計画がよかったのか悪かったのか全くわからないまま、何を払うのですか。払うこととかコンサルを受けることは全く反対しているわけじゃないのだけど、丸投げしているのではないですか。いまの説明を聞いていると、当たり前のことを一生懸命言っていて、やりました、資料を出しました、終わりました、はい通りました、やることは簡単なことだけやります、それで終わりですという結論になると思うからおかしいと、いまここで言わないと、このまますぐいっちゃう。前の人が承認しているなら、僕らは来る必要ない、そう言われるだけです。何を承認したか見せてくれないかとメールを出したのです。

→貴重なご意見をありがとうございます。ここの中にございます上位の計画というのは市の総合計画でございまして、その中にも重要施策と位置づけておりますので、こちらのほうの計画は立ててまいります。

- ・上位のやつがあつて重要計画というのはわかるのだけど、だから何をしようとしているのか、コミュニティバスを黒字にしようとしているわけじゃないでしょう。誰のために何をしようとしているかがわからない、どういう交通網をつくらうとしているの

かわからない、デザインが。一般的にそうなると思いますよ、官庁がやると。だって、自分のためにならない、いくら整備されたからと言って、平田町なんかほとんど使っていない。

⇒いま質疑という部分で、とりあえずこの来年度の予算を含めて、予算と事業内容、事業計画についての審議をしていただいているところでございますが、その中の説明として、地域公共交通網形成計画というのはどういうものかという説明が少し足りない、スケジュールだけは説明しましたが、地域公共交通網形成計画、これがどういうものかということをしっかり理解していただくための説明が少し足りないというふうに認識しております。この計画については、5年に一度、この公共交通についてはいわゆる養老鉄道、コミュニティバス、名阪近鉄バス、そしてデマンドバス、この4つがいわゆる公共交通としてこの市域の中を走っているわけでございますけれども、それがいま必ずしもこの現状を満足していないというアンケート結果が総合計画の中で、一番重要度が高くて満足度が低いのが公共交通であるというのがこの市の課題でございます。

その現状把握をして、どのような形で、これは市民の皆さんも意見がいろいろだと思うのです。当然、平田町の方は養老鉄道を使われないとか、コミュニティバスに乗るバス停がすぐそばにないという方もありますし、その中で全部が満足するということはちょっと難しいと思うのです。100%満足は難しい、バスはかなり減らしたのですが、減らしても、減らしたら何で減らしたのだ、じゃ乗るのかというと乗らないというのがいまの現状でございます。この地域の公共交通に乗る癖がついていないといえば癖がついていないのだとは思いますが、ただし、かなりの方がいろいろな要望を言ってくさっている、要望書も出てきているのは事実です。ですから、デマンド交通というのもいま市内各所回っておりますが、ドア・ツー・ドアにしてくれとか、後からまたご報告をしますが、デマンド交通もかなり固定化した人ばかりが使っているというようなことも現状であります。

今回の公共交通網についても、形成計画については、私ども事務局も、このメンバーの皆さんも、いままでの公共交通網形成計画のつくり方とはかなり力の入れ方が違っております。ですから、今回のこの中で、10カ所ワークショップとか、幅広い年代層からご意見をいただく、もちろんアンケートも手法の一つとして考えていきます。いまここでランドデザインというのは、私たちだけで決めるべきものでもないで、そういった現状分析をしていったら何が必要かということ、この場で議論をしていくというところが今回の計画でございます。そのあたりのところも踏まえて、岐阜大学の先生も中に入っていていただいておりますし、民間の公共交通の事業者の方にもご意見をちょうだいしていきながら進めていく。

今回これは、予算的には一般会計の予算で、議会でお進めいただいているのですが、形式的にはいったんこの会議の会計の中で議論をしていくことが法律で義務づけられておりますので、その中で皆さんがご納得いただけるような議論をこの場でこれからしていただく。当然その地域に出向いてでも、地域でももちろん会議をやりますので、委員の皆さんも積極的にそういうところでご意見をちょうだいできればと思います。あちらを立てればこちらが立たずみたいな議論がいっぱいありますの

で、そういったことも踏まえて、100%皆さんが満足というわけにはいかないかもしれませんが、ある程度の納得をいただけるような計画をつくっていきたい、そのために議論していく、調査もしていくというものだと認識をしておりますので、ご理解をいただきたいと思います。

- いまご説明していただいたとおりだと私も思っています。

一方で、確かにこれまでの計画ですね、きょうこの今年までの計画が一体どうやったか、それに対してそこから見られた課題とか、この先に持っていくためのいわゆる自己評価ですね、そのあたりのところをしっかりとやっていけば間違いないかと思っているのです。先ほどちょっとスケジュールを見ますと、実はそこまでしっかり書かれてないところもございまして、こちらについては次回なり何なり、新しい計画をつくる上でしっかりそこらについてお願いしたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

- お金について文句を言っているわけではないので、もう一回どこかでワンステップあって、取りまとめてこういうふうになって、大きな方針は、例えば老人向けだとか、学生向けだとかというような、こういう形で計画をしますよ、それでやりましょう、それが大事だというのが一回あって、それからこの会議で網の策定に入ったほうが私はいいと思うのです。これだと一発、さーと終わって、ああどうも策定しましたということではないので、これで終わりました、もういいですかと。先に一回あって、じゃこういう方向でいいですかという、概要説明じゃないけれども、入っていくというのがよろしいのではないかと思うのですけれども、これは認められなかったら別です。

→そのために本年、5回ほど開催を予定しておりますので、一つ一つまたお諮りして進めたいと思っております。先ほどの委員さんのご意見のところ、まずどのような形で、今後、事業計画をつくっていくかというところですが、一応会議としては5回予定してまして、11月がその会議になってくるのではないかと思います。計画の骨子というものを、市民アンケートを踏まえてご提示させていただき、その中で、やっぱりこの計画の中に、例えばもう少し高齢者を重視したほうがいいとか、観光を重視したほうがいいとか、福祉を重視したほうがいいとかというご意見が出てくるかと思っております。そのご意見を踏まえて、最終的に素案ということで1月にそれを計画して、また提示させていただいて議論していただくということになるかと思っております。そこで当然、いまの意見交換会というものがあるから、こういうものをもうちょっと入れたほうがいいのではないかというものが出てくるかと思っております。

- ある程度、スケジュールを見ると並行しているじゃないですか。例えば目標を立てたら、それを承認するなり、それでいいという議論が終わって次のステップに行かないと、こう走っているからおかしい。課題を整理して、それで目標設定するじゃない。だって具体的に事業の設定が先にあって、運行計画とか先にある、そんなことがあるのかどうなのか、よくわからない。そういうのがあるのですか、そのコンサルの人、プロジェクト管理か何かするとき、必ず切って、そこでオーケーをもらって次に進まないその後戻りするでしょう。

⇒結局、一つに決めつけるわけではなくて、いろいろな形を満足した中で、その後に承認されたときに、もちろんだういった形で承認されるかわからないです。ただ、そこが初めて1年という短い時期では難しいので、幾つか選択肢を持ちながら、その最後に決めていただいたところに応じて整備していただくのが、と思っております。

○原案どおり承認

議題4 平成31年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業《計画策定事業》）の交付申請について

○事務局から説明（資料3に基づき説明）

・平成31年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業《計画策定事業》）の交付申請について

○委員からの質問・回答、意見等

・質疑等なし

○原案どおり承認

その他

○事務局から以下3点について説明

- ・海津市地域公共交通網形成計画策定業務のスケジュールについて
- ・地域内フィーダー系統事後評価要約版
- ・海津市路線バス乗降調査兼アンケートの実施について

○委員からの質問・回答、意見等（→事務局回答、⇒他委員回答）

・前回、作成された計画の結果、効果はどうだったのか、乗客の調査があったような気がするのですが、その結果の資料はいつ出るのか、もう出ているのですか、ホームページにあれば結構です。それに対して。そういうことがどっかに、次の会議にちゃんと紙として出てくるならいいのですけど。

→現段階でのいわゆる計画に基づいていま乗降調査をしているのですけれども、その結果というか、実績というものはどこかに出す予定はしております。

・それに対してどういうものなのかはほしいなと思っております。

→毎年、年度末にやっております。この計画については10月～9月という1年間でやっておりますので、前回も報告しておりますし、今度も過去の何年か分まで報告するつもりです。

・それまでよかったからいままでの形でやるのか、悪かったのか、その考え方がよくわからない、数字だけ出てきても。どうですか、よかったのか悪かったのか。

→その総合計画における事務事業評価、こちらのほうは毎年実施しております、それ

はもう掲載しておりますのでごらんいただきたいと思います。

- ・それでよかったのか悪かったのか、それを踏まえて、次にどういうふうに反映していくのかだけ簡単に教えてもらえば、あとでゆっくり見てみます。難しい？

⇒難しいですね。というのは、例えばあるこの数字が良かったとか悪かったとはではないのですよね。今おっしゃられたとおりで。この方面でいくと、ここはできたけれども、ほかの箇所とか、そういうことも出てくると思うのです。間違いなくいままで毎年毎年、そういう議論がこの会議に出ておりますけれども、今回、6年の計画を総括しないといけないですね。この6年の全体の流れと次の段階とを混同をしているわけですね。そういったところも踏まえて、この報告がどれぐらいの効果だったかということは、総括は次回か、少なくとも11月のときには恐らく出てきますよね。そこで議論ということになるのではないのでしょうか。

- ・今回、プロポーザルを出されてやられたと思うのですが、何を出されて何をやろうとされているのか知っておかないと、私の言っていることが全くとんちんかんなことを依頼しているような気もするのです。受けられたほうは違うことを受けられて、私が怒っていることは全く違うことで、じゃそこのところの議論はしなくていいのかどうか。→毎年、公共交通会議を年2回やっておりまして、その中に資料といたしまして評価もしておりますので、またこれ次年度も出させていただきます。

⇒今回については、本日はまだいわゆる導入部分の会議でございます。ですから、次回以降にいままでの総括、当然課題も幾つかそこで議論をしていただきますので、その中で、過去の数字もちろんそうですし、問題点、先ほど私どもが申し上げたような問題点が幾つかございます。それをどう解決していくのか、どうクリアしていくのかということをお皆さんで議論していく。

コンサルについては、当然ここだけではなくて、公共交通についてはそれぞれの地域性がありますので、あそこでよかったからここで通用するかという問題ではないと思いますけれども、私どものまちに合った計画をどうやってつくっていくのかということをお皆さんで分析して、検討・調査や皆さんのご意見も踏まえながら、満足はいかないけれども、ある程度納得できるような、市民の皆さんにそんな形で、もちろん当然、費用対効果もあります。お金さえあれば何でもできるのですけれども、現実に限られた予算の中でどこまで折り合いをつけていくかということだというふうに認識をしておりますので、皆さんで知恵を出し合いながら、こういった会議で向こう5年間の計画をどうしてもつくるという形になってきます。

完全にこの1年で満足したものができるといって、なかなかこれは難しい問題があるかと思いますが、できる限り知恵を出しながら、体も使いながら、汗をかきながらという形、市民の皆さんにも汗をかいていただくという形になるかと思うのですけれども、そういった部分で皆さんからご意見、ご議論をいただきたいと思っています。私どもは、提案したものをすべてしゃんしゃんと終わらせるような会議ではないということは常に認識をしておりますので、ご議論やご提言をいただければというふうに思っています。

- ・昨年度とか見ていると、地域交通の問題なんかは、老人憩いの場所、集うところをつくったりとか、そういうような案が出ていたりするので、インターネットでちょっと掲載してですね、そういうようなものを参考資料としてみんなで、各自見ろと言われてもいいのですが、また変なことを言うやつがいると思われるだけです。そういうものを見ながら頭に入れて、これからどうするかというデザインは6月の会議で話ができればいいものになるような気もするのです。

その方法が、もしそういうことができる、よそでやっている、駒野じゃないけど南濃町ではボランティアの移動のやつ、運転ですか、あれが書いてあって、それがどういうふうにできていて、どんなメリットがあったか、本当に維持できているのか、そういうものがみんなに出ていけば、まだ昔の町のあれがあるのかどうか知らないけれども、そういうものがどこかで展開できないかとか、そういうものが出てきたら来るのか来ないのか困ると思うのです。あと全部タクシー業者に依頼しちゃって任すということもあったり、テレビで結構やっていたので、そういう何か参考資料を集めるのも一つのことかなと思って、もしよければやっていただければと。

- ・テイコクさんをお願いですけれども、利用者というのは天候に左右されるのですよね。それで、これ日にちをきちんと決められているけれども、雨降りに実施するという形はできませんか。雨降りで乗降者が左右される。

(テイコクより説明)

実際、調査員を募集してということになりますので、雨となりますと、調査員のほうに来ていただくからには、当然それでご足労いただいていますので、この調査だけではなくて、いろいろアンケートとか、その他、多岐にわたって今回させていただきますので、晴れの日と雨の日で違うというのは確かにおっしゃられるとおりの。

既に海津市様と、あと運行委託されていますスイトトラベル様のほうで常に乗降のデータはとられて、乗った場所と降りた場所だけの数字はとられていますので、そういうところで過去の天候と照らし合わせながら把握するということはできるかと。

- ・転出抑制だとか、少子高齢化対策とか、定住促進とかいうようなことが大きな切り口にあったと思うのです。その切り口に沿って、こういう例えば養老鉄道とかコミュニティバスというのがこの中にあるという、その大きな柱との関連性がわからないと、ここだけ取っちゃうと、それは何をやっているのだという議論になる。だから、まとめ方がそういうふうにこっちに書いてある、いいことが書いてあるので、そういうものに沿って書いてもらおうとわかりやすいかなと思います。

閉 会